

第12課 友だちに囲まれて

■叙想法

अगर मैं अकेले बीमार पड़ी होती

完了分詞 + 助動詞(未完了分詞)

तो शायद आज ज़िन्दा न होती।

未完了分詞のみ

「もし私がひとりで病気にかかっていたとしたら、おそらく今日生きてはいなかったでしょう」

事実を述べる直接法とはことなり、叙想法は話者の願望や不確かなこと、仮定などを含む表現です。例文では、 अगर～「もし～なら」で始まる条件節は、完了分詞に助動詞の未完了分詞を加えた、叙想法仮定完了形となっています。これは「もし～してしまっていたならば」と、ある時点で完了した動作と反対のことを仮定する表現です。तो ...「そうなら...」以下の帰結節は、未完了分詞が単独で使われた、叙想法仮定未完了形と呼ばれます。これは「...しているのだが」といった、ある時点における事実と反する未完了の動作を表します。